

## 就任のごあいさつ



いない よしと  
稲井 義人  
副町長

このたび、7月1日付けをもって副町長に就任いたしました。稲井義人でございます。

これまでの役場勤務の経験があるとはいえ、副町長という職責の重さに身の引きしまる思いでございます。

高鍋町は「歴史と文教の城下町」。この言葉どおり、「明倫堂」の教えを「教育」「福祉」「文化」「農業」「商業」などあらゆるところに垣間見ることができるところにパクトシティです。

この魅力をさらに高め、子どもが将来誇れるまち、みんなが住みやすいと思えるまち、高齢の方が安心して住めるまち、このようなまちづくり、頼りになる役場づくりに取り組むことが私の役割と思っております。

もとより微力ではありますが、副町長として、町長を支えるとともに、高鍋町のさらなる発展、そして町民の皆さまの幸せのため、職員とともに努力する所存でございます。どうぞ、ご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 就任・退任のごあいさつ



しまのうち まこと  
島埜内 遵  
教育長  
前副町長

このたび、7月1日付けをもって、副町長を退任し、教育長に再任いたしました島埜内遵でございます。

副町長在任中は、力足らずの私に、町民の皆さまの温かいご理解、ご指導をいただき、助けていただきました。心より感謝申し上げます。

さて、「美しい村(町)など始めから、あったわけではない。美しく暮らそうとする村人(町人)がいて村(町)は美しくなったのである。」という言葉があります。私たちの故郷、高鍋町も美しく暮らそうとした先人の思い、行動があり今の高鍋町が存在しています。私は学校教育においては美しく暮らそうとする人づくりを目指し、社会教育においては町民の皆さまが美しく暮らそうとする教育環境づくりのお手伝いをさせていたきたいと思います。どうぞ引き続き、ご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。「動き出せば景色が変わる」をモットーに頑張ります。

## 退任のごあいさつ



かわかみ ひろし  
川上 浩  
前教育長

このたび、六月三十日付けをもって、教育長を退任いたしました川上 浩でございます。

在任中は多くの町民の皆さまにお世話になりました。深く感謝申し上げます。特にコロナ禍の中、児童生徒の教育活動へのご支援や公民館活動等への協力等をいただきましたことに対しまして、この場を借りてあらためてお礼を申し上げます。

任期中、町民の皆さまのご支援とともに有難かったのが、信頼できる職員と共に仕事をさせてもらったことでございます。児童生徒や保護者の皆さまのために真摯に心を砕く学校職員や地道な日々の業務に誠実に取り組む町役場の職員の姿から、志を忘れずに仕事に励むことの大切さを学ばせてもらいました。まだまだ未熟であり、その仕事ぶりには至らぬことも多々あるかもしれませんが、町民の皆さまにおかれましては、引き続き温かい心でご理解・ご支援いただければ幸いに存じます。

名残は尽きません。今後、本町が町長の掲げます「懐かしい未来」に向けて更に発展することを心よりお祈りいたします。退任のご挨拶とさせていただきます。さようなら、ありがとうございました。

## 地域防災マネージャーコラム☆Vol.17「釜石の奇跡」と「大川小の悲劇」

昨年度末の3月11日に東日本大震災から10年が経過しました。テレビや新聞などの特集をご覧になり、それぞれの思いを持たれたことと思います。

そんな中、岩手県釜石市の鵜住居(うのすまい)小学校卒業の語り部(当時中学3年生)は、「奇跡」と呼ばれることに戸惑いがあったと言います。「自分達は助かったからそれでいいのか」と。鵜住居小学校では、防災計画に基づいた避難訓練を毎年行っていました。一方、宮城県石巻市(いしのまきし)の大川小学校は、防災計画はあるものの具体性がなく、定期的な避難訓練も行っていないでした。鵜住居小学校では、点呼場に集まっている児童に対して「何やってんだ!早く逃げろ!」の先生のひと声で児童が自動的に避難場所に走り出します。いつも訓練している避難経路・避難場所です。一方、大川小学校では、先生たちが点呼を終えた後「山へ逃げるか」「この揺れでは木が倒れるので駄目だ」と検討を開始。しかし、山とは逆の避難途中の堤防近くにある高台で津波に遭遇します。

これを単なる被害の比較では終わらせてはいけません。この2つの小学校の決定的な違いは「計画と訓練」です。災害時に命を守るために必要なのは、「心構え」(=防災計画)と「行動」(=避難訓練)です。どちらが欠けても迷いが生じ、逃げ遅れが発生します。

いま一度、ご家庭や職場で「緊急時の心構え」と、いざという時の「家族(仲間)の行動」を話し合っておきましょう。

地域防災マネージャー 織田 範之



高鍋農業高校園芸科学科では、ロボット技術や情報通信技術(ICT)などの先端技術を活用して、省力化や高品質生産を実現する「スマート農業」への取り組みを進めています。たとえば、野菜部門では環境センシング機器を使ってハウス内の温度や二酸化炭素濃度を自動測定し、そのデータを使って野菜の生育や病害を予測します。生徒は、測定した気象データをタブレットなどで簡単に見ることができ、他校との情報交換も可能です。

果樹部門では、ハイブリッドラジコン草刈り機を導入しました。ラジコンを操作し、安全にスピーディに果樹園内の草刈り作業が軽々とできます。斜面の草刈りでも、安定した場所から機体を操作できるため、安全かつ快適に作業できます。女子生徒も楽々と斜面の草刈り実習に取り組んでいます。

草花部門では、母の日に合わせT S U T A Y A かなべ店でのカーネーション販売実習を行ったり、高鍋町社会福祉協議会から依頼を受け、サルビアやマリーゴールドなど 12,000 本の苗を育て配布し、花で地域を彩る活動に取り組んでいます。

園芸科学科では、地域に根ざした活動やスマート農業学習を積極的に行いながら、次世代の農業を担う農業経営者の育成に取り組んでいます。

## 全国枠を初めて募集します

県外から生徒を募る「全国枠」を、2022年度の畜産科学科と園芸科学科の入学試験で初めて導入します。今後、高校のHPで詳細を発表します。

問い合わせ先  
☎0983-23-0002

高鍋農業高校の  
ホームページ



▲ラジコン草刈り機を使って果樹園の草刈りをする生徒たち



▲町内でのカーネーション販売実習をする生徒たち

## 100歳おめでとうございます！

5月に町内で2人の方が100歳を迎えられました。これからもどうぞお元気で毎日をお過ごしくださいね！

ふじた ちかえ  
**藤田 千カエ** さん



80歳ころまで農業を営まれていました。好き嫌いなくなんでもよく食べるそうで、現在はぬり絵をされるのがお好きなようです。穏やかな笑顔が素敵でした。

やの ちとし  
**矢野 千壽** さん



95歳まで奥様と農業を営まれていました。戦時中は海軍に所属し、ハワイ沖で船が沈没するも生還する経験をされました。肉やチーズ、コーヒーが好きで、食べるのが長寿の秘訣とのことでした。

## 脳の損傷で起こる認知障害「高次脳機能障害」をご存知ですか？

高次脳機能障害は、脳の病気(脳梗塞、脳出血、脳損傷、脳炎など)や事故などで脳が損傷したことにより、記憶、注意、思考、言語、感情抑制などの認知機能に起こる障がいで、生活に色々な支障をきたします。

以下のような症状でお困りの方は、下記相談先にご相談ください。

- 新しいことが覚えられない、何度も同じことを繰り返し聞くようになった
- 何かするとミスが多かったり、集中力がなくなった
- 仕事を手順どおりにできない、指示がなければ行動できなくなった
- ちょっとしたことで怒ったり、無制限に食ったり、お金を使ったりする
- 発語や読み書きが上手くできない、普通にできていたことができなくなった

宮崎県身体障害者相談センター相談窓口  
☎0985-29-2556 平日午前9時～午後3時30分





◎お堀がきれいになりました



▶お堀の様子

6月上旬、高鍋町美術館近くの城堀の草刈りが完了しました。城堀には昨年まで石灯籠が設置されていましたが、昨年1月頃に、城堀り周辺に設置していた石灯籠の譲渡を希望する方を募ったところ、すべての石灯籠が希望する方に譲渡されました。周辺のツツジも撤去され、東屋の周りもすっきりしました。この機会にぜひ、散歩してみませんか。

◎「児湯学友団コンソーシアム協議会」設立



▶設立総会の様子

将来の東児湯地域を支える人材育成の仕組みづくりなどを目的に、東児湯5町と高鍋高校、高鍋農業高校は4月26日、「児湯学友団コンソーシアム協議会」を設立しました。同協議会は専任スタッフ2人を高鍋高校に配置し、今年度は5町の中学生らが地域の課題解決を探る「中高生サミット」や、中学生向けのハイレベル学習会の開催などを計画しています。

◎ワクチン接種が進んでいます



▶ワクチン接種の様子

5月10日から、65歳以上の方を対象に、新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。集団接種はコンフォール健康センター（高鍋町健康づくりセンター）やたかしんホール（高鍋町中央公民館）、海老原総合病院で、個別接種は町内医療機関で行われています。また、64歳以上の方については、順次接種券を送付しています。予約は接種券が届いてから可能となります。

◎NTTとの連携協定



▶連携協定締結式の様子

4月28日、町とNTT西日本宮崎支店（宮崎市）は、情報通信技術（ICT）を活用したまちづくりと、災害時における通信障害の早期復旧に関する2つの連携協定を結びました。ICT活用の協定については、町全体をITでつなぐ次世代都市「スマートシティ」や、SDGs推進に取り組む町に対して同支店が助言などを行います。また、通信障害復旧に関する協定は、両者が連携し、通信障害の早期復旧を図ることを目的としています。

◎小中学校に竹ぼうきの寄贈



▶贈呈式の様子

5月28日、高鍋舞鶴ライオンズクラブ（浦叶会長）が、町内の小中学校に竹ぼうき計80本を寄贈し、高鍋東中学校で贈呈式が行われました。同クラブの浦会長は「掃除で掃き清めることで心が清らかになることにつながる。ぜひ活用してほしい」と話されました。3年の遊亀真斗さんは「今の竹ぼうきは短くなっていった。大事に使いたい」とお礼を述べました。各学校では、日々の清掃活動にこの竹ぼうきを活用します。

◎模擬火災訓練



▶訓練の様子

6月27日、小丸川河川敷広場で令和3年度模擬火災訓練が行われました。訓練は広場の西側雑木林で火災が発生した想定で行われ、消防団員たちは連携しながら消火活動訓練を行いました。なお、6月5日にも、町職員駐車場でポンプ操作要領勉強会が行われ、消防団員たちは自然水を利用したポンプ操作などについて理解を深めました。

# たかなべ・赤ちゃん写真コーナー♪

我が家の天使を自慢したい♪



ひらばら あかり  
平原 愛佳梨ちゃん

あかりちゃん1歳おめでどう☆  
だいすきなお姉ちゃん達とたくさん遊んでニコニコ元気で大きくなってね!



こだま すず  
児玉 涼ちゃん

涼とお話できる日が楽しみだな～。ご飯食べられるようになったら一緒に美味しいものいっぱい食べようね!



えのもと いつき  
柄本 樹ちゃん

いっちゃん♪2歳のお誕生日おめでとう!  
皆いっちゃんのごとが大好きだよ!  
生まれてきてくれてありがとう♪



もちばら いつき  
持原 一槻ちゃん

我が家の宝、君の笑顔にいつも癒されています。心優しく、芯の強い、槻のような大きな男になって欲しいです。

高鍋町内に住む2歳までのお子さんの写真を募集中です♪

詳しくは、下のQRコードより募集ページをご覧ください。



↑写真コーナーの募集ページ



かさばら なぎ  
笠原 榎ちゃん

あっという間にもうすぐ1才の末っ子榎ちゃん。  
お姉ちゃん達と仲良く、可愛い笑顔で成長していけますように♪



なごとも たけまる  
永友 丈丸ちゃん

たけちゃんお誕生日おめでとう!家族みんなたけちゃんの事が大好きだよ!沢山食べて沢山遊んでもっともっと大きくなあれ!



こうまる はなの  
幸丸 花乃ちゃん

もうすぐ2歳!おしゃべりが上手になってきた花乃ちゃん。これからも4人の姉兄と毎日楽しくすごそうね。

## 【編集後記】

右記事にある、6月19日に行われたアイガモの放鳥では、子どもたちは初めて触るアイガモに興味津々の様子でした。恐る恐る触りながらも、楽しそうに放鳥や餌やりを行いました。

## 町公式SNS一覧



高鍋町 Facebook



高鍋町 LINE



高鍋町 YouTube



↑SNS一覧ページ

広報

# たかなべ

July 2021 No.431

編集・発行／宮崎県高鍋町

〒884-8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437

地域政策課 ☎0983-26-2018

※「広報たかなべ」は2ヶ月に1回、奇数月に発行しています。町ホームページでもご覧になれます。



↑高鍋町ホームページ



▲放鳥の様子

## アイガモの放鳥を行いました

6月19日、高鍋町みどりの少年団が四季彩のむらの水田にアイガモを放鳥しました。

アイガモは8月いっぱいまで水田で泳ぎまわる予定です。

## トラクター・重機・トラック・農機具

古くても、壊れても、不動車でも

見積り無料  
どこでも  
かけつけます!

どよりも高く買い取る

ことを目標  
しています!!

TEL:0986-77-9092

広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、又は買取額10%UP致します。

農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号

携帯:080-3375-9750

FAX:0986-77-9092

〒885-1105 宮崎県都城市丸谷町2107 https://kaitorimiyazaki.jimdo.com

